

「創立1周年にあたって」～記念シンポジウムから1年

「水につながる, 水でつながる～水の環」をキャッチフレーズに立ち上がった Com aqua ですが, 実質の本格始動となった創立記念シンポジウム「つながりはじまる」から一年が経ちました。この間, <しづく会員>のみなさまを中心にして, 多くの方々や関係団体に支えられて, なんとか方向性を定めて, 活動を積み重ねてくることができました。また, 京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金と一般財団法人セブン-イレブン記念財団助成金で, 事業の一部を支援頂きました。改めて, 会員の皆様, 関係の皆様にご礼申し上げます。

水をめぐっては, 日本でも世界でも, なおさまざまな問題が解決されずにいます。洪水など水災害も頻発しています。安心して飲める水や食料生産のための水の確保など水環境や水資源の整備の問題も開発途上国ではなお深刻です。水に関わる文物や景観を享受して継承する仕組みも文化の問題として抱えていると思います。そんな中で, 日本では「水循環基本法」が昨平成 26 年に制定・施行され, 「健全な水循環」を構築することが国全体の課題であることが改めて確認されたりもしています。そんな中で, みなで共同して, 水のリスクに備え, 水の恵みを授かり, 水の育む環境を守っていく. . . , そんなことの意味を一緒に考えて行くことの大切さや, 「水つながり」を一層広く, そして強くすることの役割を改めてかみしめているところです。

私たちの思いや願いは, あちこちで受けとめて頂いています。ただし, 具体的な活動や, 関係の方々に参加頂くスタイルなどは, なお十分に整えられていないことも確かです。水への関わりの楽しい機会を重ねながら, この整備を進めていきたいと思えます。引き続き, ご指導・ご支援を御願い致します。

本年4月に, 韓国の大邱市を中心にして, 第7回世界水フォーラムが開催されます。3 年に一回世界の水関係者が一同に会する最大の交流の場となります。今回は「私たちの未来のための水 Water for Our Future」がメインテーマとなっています。このフォーラムの第 3 回が 2003 年に京都を中心に日本で開催されましたが, これから 10 年経ったところでその後の進展とこれからを見直すことが, Com aqua の設立の一つ発端になりました。次回第7回のフォーラムが隣国韓国で開催される機会に, キャッチフレーズ「水につながる 水でつながる 水の環」を改めて問い直し, しっかりと世界へ発信するために, <世界水フォーラム市民ネットジャパン>という特別チームを発足させて, 関係の団体などをコーディネートして参加する運びとなりました。韓国の会場では, テーマプロセスにおける水管理と水文化のセッションや, 日本パビリオンでの展示や発表など, さまざまにチャレンジしてきます。<aqua なツアー in 韓国>も検討しています。ぜひ, 多くの方に参加して頂きたいと思えます。

また, 国連「世界水の日」(3 月 22 日)に因み, Com aqua は第7回フォーラムに参加する人や団体, そして現地には行けない人たちも含めて「決起大会」を開催することを提案してきましたが, このたび日本水フォーラムさんの主催で, 2 月 20 日に東京で開催されることになりました。Com aqua は後援団体として, また一つ「つながり」に貢献できると考えています。

また、Com aqua は、京都での「水つながり」の仕立て直しを考える一環として、琵琶湖疏水をめぐるさまざまな活動や試みに関わっていきます。明治時代に開鑿された琵琶湖疏水は、当時の最先端技術を活用し、舟運、発電、用水供給など、明治期の京都の復興や日本の近代の礎を築き、京都と琵琶湖や下流の淀川・大阪を繋ぐ連携の基幹となってきました。現在も、京都の生活を支える「いのちの水」であり、発電や庭園・水辺の景観形成などの役も果たし、生活・環境・文化の基盤です。今年は、京都市を中心にして、関係の団体によって観光通船の実現が迫っています。この琵琶湖疏水を対象にして、周辺に住む皆様や関係団体と連携して、その役割を見直し、地域の象徴としての水路や水辺の保全整備のあり方を考えていきたいと思いをします。

このほかにも、水に関わる飲み物や食べ物、庭園や水辺の光景、水辺の花や生き物、水を題材とする芸術や遊戯... などなど、水とのつながりを考えて行く行事を企画していきたいと思いをします。ぜひアイデアをお寄せ下さい。一緒に楽しく水につながり、水でつながっていきましょう。

私事で恐縮ですが、私は農業用水の利用を中心に、人々が水環境や水管理の中で、水をどのように認識し、情報を共有したり継承したりし、また日々の活動や将来に向けた準備や投資を進めるのかを、主なテーマとして研究を進めています。この Com aqua も、そこでの思いを基にして、立ち上げを呼びかけました。また、Com aqua で得られる皆様のご意見や、活動の展開自体が、水管理・水意識の研究ともなっております。「アクションリサーチ」といえるでしょうか。皆様に教えて頂きながら、得られた成果は直接にまた Com aqua 他、さまざまな形で社会的な貢献に結びつけていきます。引き続き、ご理解とご指導を御願ひするものであります。

長くなりましたが、記念シンポジウムから1年、創立1周年にあたって、改めて、御礼と御願ひを申しあげる次第です。ありがとうございます。またよろしく御願ひ致します。

平成 27 年 1 月 26 日

一般社団法人 Com aqua 代表理事 渡邊紹裕